横浜市立 笹下中学校　　令和　4　－　6　年度版　中期学校経営方針　（　令和　5　年度修正）

学校教育目標	自立 　自ら学び、　（知徳体） 共生 　互いを支えあい、　（徳公） 創造 　未来を創る笹中生　（公開）

学校概要	創立　52　周年	学校長　池田ゆかり	副校長　小灘　洋生	3　学期制	一般学級：16　個別支援学級：4
	児童生徒数：　634　人	主な関係校：　南台小学校･日下小学校･上大岡小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質･能力
･夢や目標を持ち、主体的にチャレンジする姿勢〈自分づくりに関する〉 ･豊かなコミュニケーションで人とつながる力〈言語能力〉 ･協働して、社会に貢献する力〈次代の社会をつくる力〉

笹下中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質･能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
･笹下中学校 ･南台小学校 ･日下小学校 ･上大岡小学校	〇つながりを大切にし、自他を思いやった言動のとれる子ども 〇目標達成に向けて、自信をもって主体的にチャレンジできる子ども ･小中合同研修会等を通して児童生徒の支援計画を共有し指導の充実を図る。 ･授業交流を通して小学校教員、児童と中学校教員がつながる。 ･授業を保護者、地域に公開し、保護者、地域とつながる。 ･子どもが主体的に学びに向かうことや、子ども同士ですすんでつながることができる雰囲気づくり、環境づくり、居場所づくりに努める。

中期取組目標	･生徒一人ひとりの個性を認め合い、誰もが安心して過ごし、互いに高め合える学級･授業･行事･部活動を実践します。 ･深い学びができる授業づくりや改善を行い、主体的に学習に取り組む態度を育てます。 ･心身の健康を目指し、自らの生活を振り返り、見直す力を育てます。 ･個に応じた特別な支援を支援計画に基づいて、チームで取り組みます。 ･仲間と協働しながら、特別活動を通して、生徒の自治能力を高めます。 ･小中の連携を深めて、学級活動、生徒会活動、地域活動に積極的に参加をし、社会に貢献する力を育てます。

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①校内授業研や小中一貫教育推進ブロック授業研を実施し、9年間を見通した授業改善を目指す。年に二度生徒による授業評価をもとに授業改善を行う。②主体的に学習に取り組む態度の見取り方を中心に、教科の枠を超えて意見交換できる体制を整える。（指導と評価の一体化･適正な評価）
担当	教科研究･学習指導部	
徳	人権教育	①特別活動･行事･校外学習等の豊かな体験を通して、互いの個性を尊重し、人とのつながりを大切にした望ましい集団づくりを目指す。 ②道徳教育の推進、人権教育の推進を図り、自他の人権を尊重する心を育み、自尊感情を高めていく。
担当	道徳･特活･人権	
体	健康教育	①体育実技において基礎体力を向上し、基礎的な準備運動や補助運動により安全に実技を行う力を育成する。体育理論においては体力向上のための計画的で効果的な運動方法を学習する。②基本的生活習慣を学び、自分の生活や食事の習慣を振り返ることで健康安全についての理解を深める。
担当	保健体育科･保健安全指導部	
公開	ESDの推進	①教育活動全体を通じて、仲間と協働し互いの良さや可能性を認め合うことのできる集団作りを目指す。②自分たちを取りまく課題をSDGsの視点で見直し、持続可能な社会を創る担い手として課題解決力を育成し、社会貢献につなげていく。（生徒会･個別支援級の取組）
担当	特活･総合･教科	
いじめへの対応		①教育相談やアンケートを活用し、教職員のいじめに対する意識を理解を高くしていく。生徒の小さな変化を見逃さないために情報共有する体制をつくっていく。②いじめ防止対策委員会を週1回程度開催し、職員会議等で情報共有し、再発防止に努める。いじめを積極的に認知し、学校全体で対応する。
担当	いじめ防止委員会･生活指導	
人材育成･組織運営(働き方)		①教職員がグループ目標を自分事とし協働する。放課後支援活動導入に向けて試行、準備を進める。②メンターチームではミドルリーダーを中心として定期的に研修を行い、経験の浅い職員の育成を図る。③働き方改革の視点から、ICTを活用し、持続可能な立案を心掛け、生徒の適切な活動時間や職員の働き方を考え、改善する。
担当	教務･メンターチーム	
特別支援教育		①特別支援アプローチプランを作成し、活用していく。個別最適な学びの場の検討や設定をし、それぞれの状況にあった適切な支援に学校全体で取り組んでいく。②特別支援に関する研修や伝達を行い、支援を要する生徒や指導法について理解を深める。生徒の様子や変化、学習状況等を共有する。
担当	特別支援推進･個別支援	
生活指導		①生徒に寄り添いつつ一人ひとりが抱えている悩みや不安を受容し問題解決の手助けをする。また、学校生活の様々な場面で意識して積極的に生徒と関わっていく。②Y-Pアセスメントを利用した生徒指導研修会を開催したり、指導部連絡会で共通理解を深め、他機関連携も含めたチーム支援をする。
担当	生活指導部	
自分づくり仲間づくり教育		①校外学習や行事を通して、互いの個性を尊重し、人とのつながりを大切にした望ましい集団づくりができるような課題設定をしていく。②自分らしさを発揮して将来の夢や希望をもてる生徒を育成するために、夢プログラムを実施しキャリヤ教育に繋げる。
担当	総合･特別委員･特活	
地域学校協働活動		①地域行事の連携を深め、地域学校協働活動推進員（学校･地域コーディネーター）が運営する地域学校協働本部を中心に、学習ボランティアを募り、放課後の学習支援事業を実施する。②学校運営協議会を平日開催とし、児童生徒の活動を共有する。生徒会役員の意見も取り入れ、ボランティア活動の連携も深めていく。
担当	小中一貫･生徒会	